



効果的なリハビリテーションを検討するための急性期脳卒中レジストリ研究

2022年6月1日から2028年11月30日までに脳卒中を発症し、日本医科大学付属病院 脳卒中ユニットに入室し、リハビリテーション診療を受けられた患者さん

研究協力をお願い

当科では「効果的なリハビリテーションを検討するための急性期脳卒中レジストリに関する研究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2022年6月1日から2028年11月30日までに脳卒中を発症し、日本医科大学付属病院 脳卒中ユニットに入室し、リハビリテーション診療を受けられた患者さんの効果的なリハビリテーションを調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：効果的なリハビリテーションを検討するための急性期脳卒中レジストリ研究

研究期間：研究実施許可日～2029年5月31日

研究実施場所：日本医科大学付属病院リハビリテーション科・脳神経内科

研究対象疾患：脳卒中を発症し脳卒中ユニットに入室し、リハビリテーション診療を受けられた患者さん

研究責任者：日本医科大学付属病院 リハビリテーション科 大学院教授 青柳 陽一郎

(2) 研究の意義、目的について

従来の運動麻痺や日常生活動作障害に対する評価・治療に加え、現在科学的根拠が不足しているフレイル・サルコペニア（虚弱・骨格筋量低下）に関するデータを抽出し、機能予後などへの影響について検証します。そして、新たな急性期脳卒中リハビリテーション診療方法確立の一助とすることを目的といたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2022年6月1日より2028年11月30日までに脳卒中を発症し脳卒中ユニットに入室し、リハビリテーション診療を受けられた患者さんの身体機能などを評価し、機能予後との関連について検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：患者情報、治療内容、リハビリテーション評価・治療内容、退院時の日常生活動作 等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 リハビリテーション科 理学療法士 岩沢 達也

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：6520

メールアドレス：t-iwasawa@nms.ac.jp

問い合わせ日時：平日月曜日～金曜日（祝日を除く）9:00-12:00、13:00-16:00